

## 日本農業工学会第151回理事会議事録

日時：平成27年7月17日（金） 13:00～15:00

場所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者：大政会長、塩沢副会長、川越理事、池口理事、野口理事、羽藤理事、岸田理事、三澤監事、山路監事、東城事務局長

欠席者：北野理事、町田理事

資料1 第150回理事会議事録（案）

資料2 第31回総会議事録（案）

資料3 第31回シンポジウム・祝賀懇親会の会計報告

資料4 第32回シンポジウムの会場予約状況

日本農業工学会シンポジウム一覧（1回～31回）

資料5 日本農業工学会賞2016の選考内規・推薦関係書類

資料6 フェロー規程・推薦関係書類

資料7 事務委託契約（案）

資料8 役員名簿・加盟学協会事務局一覧

議事：

議事に先立ち、大政会長より挨拶があった。また、第13期役員の紹介があった。

### I. 審議事項

#### 1. 第150回理事会議事録の承認

東城事務局長より、第150回理事会議事録案について説明があり、原案の通り承認された。

#### 2. 第31回総会議事録の承認

東城事務局長より、第31回総会の議事録について説明があり、一部誤字等を修正の上、承認された。

#### 3. 第31回シンポジウム・祝賀懇親会の会計報告

東城事務局長より、第31回総会、シンポジウム、祝賀懇親会の会計報告について説明があり、了承された。例年に比べて、シンポジウム参加者が多く盛会であったことが報告された。

#### 4. 第32回シンポジウムについて

大政会長より、シンポジウムの形態を日本農業工学会賞受賞者による講演形式へ変更する提案に至った経緯の説明があり、各理事から各加盟学協会の意見が述べられた。協議の結果、日本農業工学会賞受賞者の講演会は総会時に開催し、シンポジウムは別途に従来の方式を継承して開催することとした。なお、来年の日本農業工学会賞受賞者の講演会は5月20日に東京大学山上会館で開催することを決定した。

## 5. 日本農業工学会賞 2016 の推薦について

大政会長から、日本農業工学会賞候補者の選考を行う顕彰選考委員会の設置について提案があり、選考委員長として塩沢副会長、選考委員として北野理事、野口理事、岸田理事、町田理事が入ることになった。

また、候補者の推薦については、昨年度と同様に各学会に依頼し、11月20日までに候補者1名を推薦願うこととした。

大政会長から、学会賞の副賞として新農林社賞を設けることについて提案があり、新農林社長の岸田理事から前向きな回答があった。

## 6. 平成 27 年度フェローの推薦について

大政会長から、フェロー選考委員会の設置について提案があり、顕彰選考委員会がフェロー選考委員会を兼務することが了承された。フェローの推薦は従来どおり各学協会に依頼し、11月20日までに推薦枠内のフェロー候補者を推薦願うこととした。

## 7. 事務委託契約について

東城事務局長から、平成 27 年度の事務委託契約について説明があり、審議の後、承認された。審議の中で、来年度以降の正会員会費割の見直し、国際会員の位置づけ、事務委託方式の見直し等について将来検討委員会で検討し、原案を作成することとした。

## 8. 役員名簿・加盟学協会事務局等について

大政会長から、役員の役割分担について提案があり、顕彰選考委員（既出）、将来計画委員会として東城副会長（委員長）、川越理事、池口理事、羽藤理事に、国際 CIGR 担当として野口理事と岸田理事に、ホームページ・情報担当として町田理事、羽藤理事に担当いただくこととした。顕彰選考委員会には大政会長と東城副会長をオブザーバーとして、また将来計画委員会には大政会長と塩沢副会長をオブザーバーとして加えることとした。

東城事務局長から、役員名簿ならびに加盟学協会事務局等の情報の確認および修正について依頼があった。

## 8. その他

### 1) モンゴル・ライフサイエンス大学との連携協定について

岸田理事より、ライフサイエンス大学が主催したシンポジウムに参加した旨の報告と農業工学分野の関係強化の必要性について説明があった。本学会としては、岸田理事と町田理事を窓口として、どのような連携ができるか検討を進めることとした。

### 2) 理事会開催予定

次の2回について理事会開催予定を決定した。

第 1 5 2 回理事会 平成 2 7 年 9 月 1 2 日（土）1 4 時～1 6 時

第 1 5 3 回理事会 平成 2 7 年 1 2 月 2 5 日（金）1 5 時～1 7 時 忘年会付

場所：東京大学 7 号館 7 階会議室